

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重点的取組 4 手軽に出かけ、移動できる環境を整える

担当課名		建設部 都市・建築局 都市計画課
予算科目	予 算	01 一般会計
	款	02 総務費
	項	01 総務管理費
	目	12 生活交通対策費

事業名	自主運行バス運営事業	事業開始年度	平成 8 年度
	自主運行バスの運行	根拠法令 条例 個別計画等	自主運行バス運行協定書、廿日市市生活交通再編計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	路線バスの運行していない地区等のバス利用者	市民が手軽に出かけ、移動できる環境を整える。（生活交通として最低限の運行確保）

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	・ 自主運行バスの運営 ・ 交通事業者への負担金の支払い	交通事業者	・ 自主運行バスの運行。

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

・市自主運行バスの運行		
路線名等	運行事業者	内 容
佐伯さくら号	佐伯交通	自主運行バス（玖島朝夕便）、通学対応、デマンド交通（玖島友和線・所山線）
佐伯さくら号	津田交通	自主運行バス（浅原朝夕便）、通学対応、デマンド交通（浅原線・飯山中道線）
吉和さくらバス	津田交通	デマンド交通（吉和線）
その他経費		佐伯地域バス関連施設(畝巻公園)の維持管理等(佐伯支所執行)

・事業費関連

【歳入】

生活交通路線維持費(県)補助金100千円、過疎債ソフト分(吉和さくらバス) 7,500千円

【歳出】

路線名等	金額			内訳	
	負担金※	その他経費	計	経常	臨時
佐伯さくら号(佐伯)	11,868		11,868	9,897	1,971
佐伯さくら号(津田)	11,961		11,961	8,732	3,229
吉和さくらバス	7,665		7,665	7,665	—
その他経費		355	355	355	—
計	31,494	355	31,849	26,649	5,200

⇒ 【当初予算の概要】
自主運行バス運行負担金94,648千円のうち31,494千円

※ 負担金とは、運行費用と運賃収入の差額で赤字部分を市が補てんするもの

※ 臨時は佐伯学校統合に伴う通学対応追加予算

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A	55,973,426	26,250,000	31,849,000	
	国庫支出金				
	県支出金	1,797,000		100,000	
	借入金（市債）	3,600,000	7,000,000	7,500,000	
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	50,576,426	19,250,000	24,249,000	
	人件費(按分) B	1.00 人 8,486,000	0.89 人 7,574,790	0.89 人 7,697,610	
	総事業費(A+B)	64,459,426	33,824,790	39,546,610	
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり	548	287	337	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考	
活動成果	市自主運行バス路線数	路線	8	8	8		
	市自主運行バス利用者数	人	317,230	390,000	400,000		